

# NX-OS への SSH はキーベースの認証を使用して切り替えます

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

## 概要

この資料に Cisco マルチレイヤ データ スイッチ ( MD ) に ssh にセキュア シェル ( SSH ) ユーザパスワードのためにプロンプト表示されないでどのように 9000 または Nexus シリーズ スイッチ記述されています。

パスワードプロンプトがないようにキーベースの認証と ssh を使用し、コマンドを実行できます。

```
switch# ssh username@switch コマンド
```

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- ssh アプリケーションのサーバ現在である

### 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は ssh バージョンの Linux サーバに基づいています:

```
ssh $ の -v
```

```
OpenSSH_5.0p1-hpn13v1、OpenSSL 0.9.8d 2006 年 9 月 28 日
```

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 設定

この機能を有効にするためにこれらのステップを実行して下さい:

ステップ 1. SSH は MDS/Nexus スイッチで有効になる必要があります。

```
#conf
```

```
(config)#feature ssh
```

呼び出します。公開キーをホストを離れて得、MDS/Nexus スイッチで設定する必要があります。

Options:

-v: 有効になる 詳細表示

-b: キーのためのビットの数

-t: アルゴリズム DSA か RSA の型

```
$ ssh-keygen -v -b 1024 -t rsa
```

```
Generating public/private rsa key pair.
```

```
Enter file in which to save the key (/users/thteoh/.ssh/id_rsa):
```

```
Enter passphrase (empty for no passphrase):
```

```
Enter same passphrase again:
```

```
Your identification has been saved in /users/thteoh/.ssh/id_rsa.
```

```
Your public key has been saved in /users/thteoh/.ssh/id_rsa.pub.
```

```
The key fingerprint is:
```

```
61:18:ad:14:cd:a7:bf:44:89:73:4a:2e:09:96:bb:51 thteoh@people
```

**注:** この例では、RSA はまた、Digital Signature Algorithm ( DSA ) キーを選択できます使用されます。

verify id\_rsa.pub ファイルの cat を使用してキーを生成しました ( ファイルはまた id\_dsa.pub である場合もあります )

```
$ cat id_rsa.pub
```

```
ssh-rsa
```

```
AAAAB3NzaC1yc2EAAAABIwAAAIEAzDWrMuGDkDXFRnuCqdJRM9Yd+oi0ff2K6HxRsyqh82GmQJ3IX6OG7obiQTKnT9+eH7h2  
WCArEiMsOz3GYtakEkpYx6zR3cKwrsrgKv4TwRgSv8yUyH8GwPZOvZP97szJDdu/3WP/ni4wJBb+yDqoI6+G1Rq/F2aYx45fh  
6SwlPv0= thteoh@people
```

ステップ 3. id\_rsa.pub ( か id\_dsa.pub ) ファイルを MDS/Nexus スイッチのブートフラッシュ ディレクトリに転送し、ssh 公開キーを設定して下さい。

この example SFTP で MD スイッチの id\_rsa.pub を転送するのに使用されています

```
#copy sftp: bootflash
```

Nexus スイッチのファイルを転送するためにコマンドに VRF を含めて下さい。

id\_rsa.pub または id\_dsa.pub を使用してスイッチのステップ 4.Generate SSH キー。

使用される参照 teoh ユーザ名のため。

```
#conf
```

```
(config)#username teoh sshkey file bootflash:id_rsa.pub
```

ステップ 5 正常に完了するチェック コマンドできます。

```
switch# show user-account teoh
```

```
user:teoh
this user account has no expiry date
roles:network-admin
ssh public key: ssh-rsa
AAAAB3NzaC1yc2EAAAABIWAAAIEAzDWrMuGDkDXFRnuCqdJRM9Yd+oi0ff2K6HxRsyqh82GmQJ3IX6OG7o
biQTKnT9+eH7h2WCArEiMsOz3GYtakEkpYx6zR3cKwrsrgKv4TwRgSv8yUyH8GwPZOvZP97szJDdu/3WP/ni4wJBb+yDqoI6+
G1Rq/F2aYx45fh6Swl
Pv0= thteoh@people
switch#
```

## 確認

パスワードプロンプトなしで今今 ssh コマンドを切り替え、発行することができます:

```
$ ssh teoh@10.66.78.53 "sh system uptime"
Warning: the output may not have all the roles
System start time: Tue May 29 17:51:30 2012
System uptime: 7 days, 19 hours, 42 minutes, 15 seconds
Kernel uptime: 7 days, 19 hours, 45 minutes, 17 seconds
```